

名古屋大学協力会

NewsLetter

No.19



◆オープンを待つTokai Open Innovation Complex(名古屋サイト) ※撮影日 2024年2月20日

株式会社Tokai Innovation Institute 設立のご案内

「株式会社Tokai Innovation Institute」(以下「TII」)は、岐阜大学と名古屋大学を運営する国立大学法人東海国立大学機構(以下「機構」)の初めての出資子会社として、文部科学大臣の認可を受け令和5年10月2日付けで設立いただきました。

複雑で激しく変化し、不確実で、かつあいまいな時代を切り拓く革新的アイデアは、異種との交わりによる化学反応から生まれます。TIIは、企業とアカデミアが境界を超えてつながり、危機感と使命感の中から未来への課題を見つけ、研究成果を社会実装するまで、ワンストップで企業とアカデミアをサポートさせていただきます。企業の事業・研究戦略とアカデミアの研究、この両者に精通したプロフェSSIONALが、機構内外のネットワークを活用し、イノベーションを加速していきます。

TIIでは、大学が保有する知的成果を、俊敏かつ効果的・効率的に産業界へ還元するために以下の事業を行います。

- ① 共同研究(企画・提案、研究実施(日本初の取組)、あっせん・伴走)
- ② コンサルティング、教育・情報発信
- ③ ベンチャー育成・支援
- ④ 企業間コラボ機会創出、他大学連携

名古屋大学協力会の皆様とともに、機構が取り組む大学・産業界・地域発展の好循環モデル「T-PRACTISS*」の実現に貢献してまいります。

(株式会社Tokai Innovation Institute代表取締役 小池吉繁)

*T (THERS) -PRACTISS (=Plan to Renovate Area Chubu into Tech Innovation Smart Society) は、機構が目指す、東海地域における地域創生への貢献と国際競争力強化の同時達成モデルです。



【TIIの位置付け】

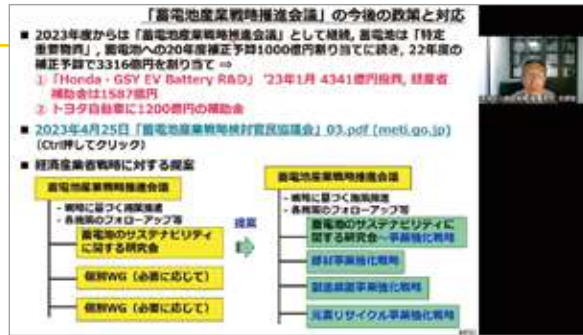


左から、佐宗名大副総長、松尾機構長、小池 TII 代表取締役、寺野名大オープンイノベーション推進室長

開催報告

研究シーズ提案セミナー

- 開催日時 2023年10月2日(月) 15:00~16:30
- タイトル 「経済安全保障への対応と蓄電池産業競争力に向けた日本の課題」
- 講師 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授 佐藤 登 氏
- 講演内容
 1. 電動化を加速させる法規と産業界への影響
 2. 自動車各社の電動車戦略と車載電池の取り組み
 3. 電池業界のビジネス動向と今後
 4. 安全性評価基準の重要性
 5. 部材業界の現状と今後の課題
 6. 電池資源のリサイクル動向
 7. 次世代革新電池の研究開発状況と課題
 8. 電動化シフトによる国と産業界の課題
- 参加者数 33名 ※オンライン接続者数



ご講演(オンライン) 佐藤 登 氏

かねてより会員様のご関心の高かった、「自動車の電動化と車載電池」をテーマにセミナーを開催いたしました。セミナーでは、電池産業についての世界的な動向や、その背景にある社会情勢、技術の変遷等、広範な内容をご講演いただきました。

名古屋大学協会で、今後も会員様のご関心のあるテーマを扱い、話題提供して参ります。

CKD 株式会社 本社・小牧工場 工場見学会

- 開催日時 2024年1月29日(月) 14:00~15:50
- 見学先 CKD 株式会社 本社・小牧工場
- 主催 名古屋大学協会の会(会員限定見学会)
- 参加者数 25名
- スケジュール
 - 14:00~14:25 開催挨拶、スケジュール説明、集合写真撮影
 - 14:25~15:40 工場見学(ショールーム、自動機組立工場、託児所)
 - 15:40~15:50 質疑応答

CKD株式会社は、2023年4月2日に創立80周年を迎えました。自動化技術と流体制御技術を基盤に、お客様のニーズに合わせた技術開発を続け、今では50万点に及ぶ自動化商品とサービスを生み出しています。創造性と革新性をもって自動化技術の探究と共創を続け、健やかな地球環境と豊かな未来の実現に取り組んでいます。



開催挨拶 人事部長 富田 敦様(右側)

見学会概要

リニューアルオープン直後のショールーム施設「ulu Creative Base」では、空気圧・流体制御・電動機器と、それに関連するアクチュエータやソフトウェア等の多岐にわたる技術の展示を見るときともに、デジタルコンテンツにてCKD株式会社の未来へ向かう理念「共創」を体感しました。自動機組立工場では、薬品包装工程を自動化した装置の構造を詳しく説明いただき、包装の実演を見る機会をいただきました。また、企業内託児所「オハナ ナーサリースクール」では、従業員やその家族を支援する手厚い制度と細やかな保育の様子を見学しました。

ご参加の会員様からは、「ショールームの展示が分かりやすく、実物を見たり触ったりすることもできた」、「薬品包装機のデモを見せていただき、大変良かった」、「託児所設置は時代のニーズにあっており感心した」等のご感想をいただきました。

このたび工場見学をお受けいただいた CKD株式会社様へは、この場を借りてお礼申し上げます。

産学融合拠点“Tokai Open Innovation Complex” 会員募集、限定特典のご案内

昨年度よりセミナー等を通じてご案内しておりました、産学融合拠点「Tokai Open Innovation Complex (以下“TOIC”)」の名古屋サイトが、2024年5月、いよいよオープンいたします。本拠点は、研究者や新事業創出を目指す人々が集い、アイデアを生み出す空間となるよう整備を進めております。このたび、TOIC名古屋サイトのプレゼンテーションエリア/コワーキングエリア(施設1、2階)の会員募集を開始いたしますので、名古屋大学協会の会員様限定特典とともに、ご案内させていただきます。

TOIC名古屋サイト料金体系および利用可能な設備・提供サービス

名古屋大学協会会員 限定特典

■ 料金体系

区分	一般会員	優待会員	備考
TOIC名古屋サイト法人会費(月額/1口)	22,000円	名古屋大学協会会員 ほか 12,000円	□ 法人1口あたり、同時に3名まで利用可能 □ 1名利用あたり、3名まで、同伴者が入場可能(同伴者は2時間まで) □ 名古屋サイト会員は岐阜サイトを割引価格で利用可能
TOIC名古屋サイト個人会費(月額)	11,000円	6,000円	
[オプションサービス]	プレゼンテーションエリア貸出、ミーティングルーム貸出、ロッカー貸出、ドロップイン(名古屋サイト非会員向け1日利用メニュー)		

■ 利用可能な設備

- プレゼンテーションエリアのイベント収容人数 約80名
- オンライン会議ブース2室、ミーティングルーム4室、オープンキッチン、無線LAN、複合機 等

■ 提供サービス

- 常駐のコミュニケーターによる、TOIC(岐阜・名古屋)の会員や東海国立大学機構のリソース等へのワンストップマッチングサービス
- TOIC(岐阜・名古屋)会員の産学連携を加速するイベントの実施、最新研究や関係イベント情報の発信

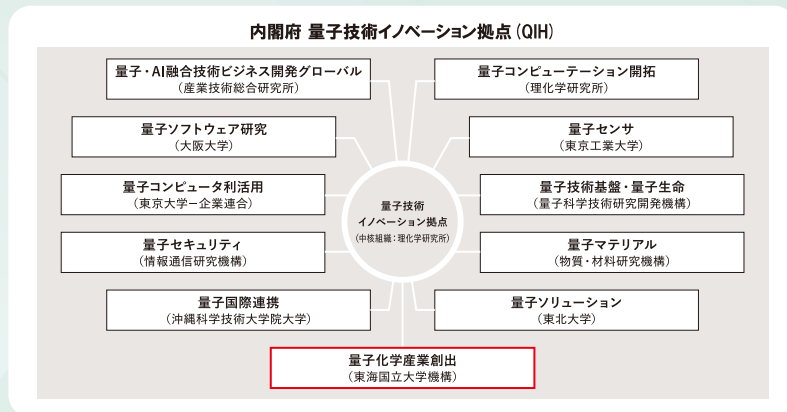
TOIC名古屋サイトの優待会員としてのご招待の他に、お試し利用キャンペーンや、特別内覧会へのご招待等、協会会員様限定特典をご提供予定です。※詳細は、後日ご案内いたします。

TOIC名古屋サイトをご利用いただくことにより、名大内のサテライトオフィスとしての活用他、産学連携や起業に関心を持つ名大・岐阜大の研究者との出会いや交流等、新事業の種をご提供できれば幸いです。限定特典に関するお問合せや入会のお申込みは、学術研究・産学官連携推進本部 TOIC名古屋サイト担当 (toic-n.info@aip.nagoya-u.ac.jp) までご連絡ください。

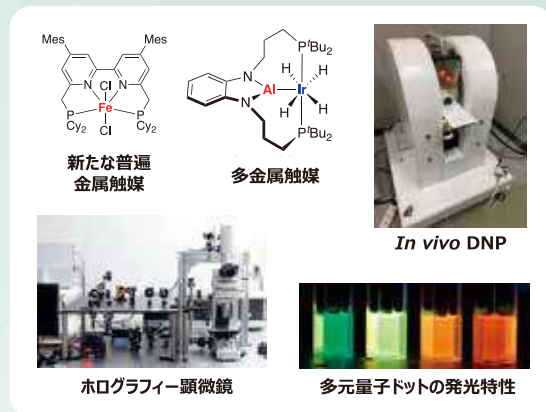
東海国立大学機構「量子化学産業創出」のご紹介

「量子」とは、粒子と波の性質をあわせ持った、原子レベル以下の小さな物質やエネルギーの単位のことであり、「量子力学」という特殊な法則に従っています。21世紀に入り、量子力学を利用した「量子技術」と呼ばれるテクノロジーが発展したことから、コンピューター、通信、暗号、センサーの技術を大きく変えると期待されており、日本政府は2020年に、量子技術の一層の加速に向けて「量子技術イノベーション戦略」をまとめ、世界と競争する体制の整備を急いでいます。

東海国立大学機構「量子化学産業創出」は、内閣府「量子技術イノベーション拠点」の11番目の拠点として認定され、量子技術が絡む事業・サービスのフロンティアを開拓しこれまでにない新たな量子産業の創出を目的として、名古屋大学と岐阜大学の量子技術研究者が結集し、活動に取り組んでいます。



量子技術イノベーション拠点



拠点活動の例 / 量子制御技術

● 「量子化学産業創出」の活動について

名古屋大学の強みである化学分野を軸に、40名強の研究者が、理論・計測部門（量子技術理論、生体計測制御、多光子計測等の研究を推進）、量子制御技術部門（分子設計の量子制御、原子配列制御等の研究を推進）、新技術創出部門（新材料、触媒、創薬・医療、生体計測等の研究を推進）に属します。それぞれの部門で量子研究を推進するのみならず、3部門間の連携により、量子材料・量子生命・量子計測・量子コンピューターなど先端量子技術の医療および産業への利活用も推進します。また、量子とは無関係に進んでいた研究に関しても、量子理論・量子制御に基づく共同研究により新たな研究を展開していきます。

● 研究シーズ提案セミナー 開催報告

名古屋大学協力会では、「量子技術の利活用による新たな産業創出に向けた取り組み」をテーマに、2024年1月16日、研究シーズ提案セミナーを開催しました。セミナーでは、拠点長の清中茂樹教授に活動内容の解説をいただくとともに、2名の講師よりご講演いただきました。

会員様からは「短時間で非常に興味深い研究内容を効率よく知ることができた」等、セミナーの内容に満足したとの多くの感想をいただき、また、数社より講師宛に、今後の連携に関する申し出をいただきました。

講演 ①	講演 ②
「さまざまな色で光る低毒性量子ドットの化学合成と高機能化」 ●講師：名古屋大学大学院 工学研究科 教授 鳥本 司氏	「量子技術による生体可視化技術への取り組み」 ●講師：名古屋大学大学院 医学系研究科 教授 和氣 弘明氏

● 名古屋大学協力会 会員様へのメッセージ

20世紀後半の産業を支えてきた、レーザー、半導体などを算出した量子1.0と呼ばれる段階から、これからは量子コンピューター、量子センシングなどの量子2.0のフェーズに入ると言われています。一方で、その隔たりは大きく、産業にはすぐには結びつきにくい状況です。東海国立大学機構「量子化学産業創出」では、量子1.0と量子2.0の間を化学の観点から繋ぐことで、量子技術を化学・電子材料、電子機器、医療計測などの観点から産業応用に繋げたいと考えております。

(量子化学産業創出拠点長 清中 茂樹)

名古屋大学協力会 2023年度総会報告

2023年7月13日、ES総合館 ESホールにて、4年ぶりとなる会場開催をいたしました。以下議案について審議し、賛成多数で承認となりました。

- ・議案 第1号 2022年度事業報告
- ・議案 第2号 2022年度決算報告
- ・議案 第3号 2023年度事業計画
- ・議案 第4号 2023年度予算計画

なお、同日併催した講演会「スタートアップエコシステムによるイノベーションの創出」では、STATION Ai株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 佐橋宏隆氏、株式会社ユーザベース INITIALシニアアナリスト 森敦子氏に、国内スタートアップエコシステムの現在の姿や、日本最大のスタートアップ支援拠点となる「STATION Ai」が目指す世界観について、ご講演いただきました。

名古屋大学協力会ニュースレター No.19

2024年3月発行

- 編集・発行
名古屋大学協力会

本誌に関するご意見、お問合せ等は名古屋大学協力会事務局にお寄せください。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
ナショナルイノベーションコンプレックス (NIC)内
TEL: 052-782-1811 FAX: 052-782-1811
E-mail: kyouryokukai@aip.nagoya-u.ac.jp